

ムギ類赤かび病の発生に注意

ムギ類では、出穂後降雨日が多く、赤かび病の発生が懸念される状況にあります。現地では今後の気象情報に注意し、適切な防除対策を講じ、本病による被害を最小限に食いとめるよう指導をお願いします。

1. 病害虫名 ムギ類赤かび病
2. 発生地域 県下栽培地帯
3. 発生量 平年並～やや多い
4. 臨時情報発表の根拠
 - 1) 作況試験地におけるムギの出穂期は、オオムギ「あまぎ二条」が平年より4日遅い4月15日、コムギ「農林61号」が3日遅い4月22日(概評)である。
 - 2) 赤かび病の第一次伝染源である子のう胞子の飛散に好適な気象条件が4月19日と23日に認められた。
 - 3) 出穂後の気象条件は、4月第4半旬以降、平均気温が15程度で、降雨日数は5日と、感染に助長的である。
5. 防除対策および防除上の注意事項
 - 1) コムギは、防除適期の開花盛期を迎えるので、時機を失しないよう薬剤の散布を行う。その後も曇雨天が続く場合には7～10日後に追加散布する。
また、オオムギでは、2回目の薬剤防除を実施する。
 - 2) 薬剤は10a当たり水和剤150～180 μ l、粉剤4kg、無人ヘリコプター散布は0.8 μ lを散布する(表1参照)。
 - 3) 発病を認めてからの防除では効果が劣るので、予防散布を徹底する。

表1 ムギ類赤かび病の主な登録薬剤

薬剤名	使用濃度及び量	適正使用基準	備考
オオムギ			
トップジンM水和剤	1,000～1,500倍	収穫14日前 / 3回以内	無人ヘリ
トップジンM粉剤	4kg/10a	収穫14日前 / 2回以内	
トップジンMZ	4倍	収穫14日前 / 3回以内	
ストビ-フロアブル	2,000～3,000倍	収穫14日前 / 3回以内	
コムギ			
トップジンM水和剤	1,000～1,500倍	収穫14日前 / 3回以内	無人ヘリ
トップジンM粉剤	4kg/10a	収穫14日前 / 2回以内	
トップジンMZ	4倍	収穫14日前 / 3回以内	
ストビ-フロアブル	2,000～3,000倍	収穫14日前 / 3回以内	
フルト乳剤25	1,000～2,000倍	収穫14日前 / 5回以内	